

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくり

NEWS vol.47



右上：木工工作コンクール審査の様子

左下：とちぎの元気な森づくり県民会議会長賞受賞作品「きょうりゅう動物園」

左上、右下：「とちぎ林業グランプリ2018inみぶ」でのPR活動

▼元気な森づくり県民会議だより

- ①平成30年度県民会議定期総会が開催されました！
- ②企画員会議が開催されました
- ③森づくり活動 ～とちぎの元気な森づくりのPR～
- ④木づかい推進活動 ～木工工作コンクールの開催～



▼県民会議構成員からのお知らせ

- ・足尾に緑を育てる会 ～来年度の活動計画～
- ・とちぎ環境・みどり推進機構 ～ハープを聴きながら林業トーク～
～Mission 森林ワーカーを確保せよ～
- ・塩那森林管理署 ～「アカマツの森づくり」を開催しました～
- ・栃木県林業振興協会 ～女性部会 こもれびの会～

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先：(028)623-3302

とちぎの森づくりNEWSは、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。

元気な森づくり県民会議だより

定期総会

定期総会にて H30の活動計画が決定!

第2期県民税スタート!
県民会議も新しい活動が
始まります!!

5月21日（月）、栃木県総合文化センター特別会議室において、平成30年度とちぎの元気な森づくり県民会議定期総会が開催されました。



総会会場（総合文化センター）



あいさつする須賀会長



あいさつする鈴木環境森林部長

平成29年度の活動報告・収支決算報告、平成30年度の活動計画（案）・収支予算（案）、役員改選（案）について承認されました。

- ◇会長：須賀 英之 宇都宮共和大学学長
- ◇副会長：江連 比出市 栃木県森林組合連合会代表理事会長
- ◇副会長：林 紀一郎 栃木県木材業協同組合連合会理事長
- ◇副会長：増淵 充（公社）とちぎ環境・みどり推進機構理事長
- ◇監事：岡部 正英 栃木県市長会副会長、渡邊 宏幸 栃木県PTA連合会会長（平成30年5月21日時点）

☆これからの県民会議☆

- 県民会議は、元気な森づくりの日（10月16日）を中心とした時期に、とちぎの元気な森づくり憲章に基づき、「森に親しむ活動」「木に親しむ活動」「森を知る活動」を展開します！
- 構成員は、森林の公益的機能の普及啓発や木製品の利用の呼びかけを行うなどにより、「県民協働の森づくり活動」を推進していきます！

企画員会議

9月14日（金）、県庁本館6階大会議室1において、とちぎの元気な森づくり県民会議企画員会議が開催されました。

今年度から規約が改正され、県民会議の各団体から企画員を御推薦いただき、活動等について御意見をいただいたり、全体の活動に取り組んでいただくこととしました。



初めての開催となる今回は、10月に行われるイベントでの森づくり憲章のPR活動について、話し合いを行いました。
事前にいただいたアンケートを基に、企画員の皆さまから様々な御意見をいただきました。当日の活動については、このあとのページで紹介させていただきます。

主な御意見

- ・会場への案内や誘導等を工夫してはどうか
- ・短時間の体験か展示がよいのでは
- ・子供への興味付けが大切なのはetc...



平成31年2月頃には、来年度の森づくり活動の計画を話し合う場を設けたいと考えております。別途御案内いたしますので、その際は御協力の程よろしくお願いたします。

森づくり活動

みぶハイウェーパークでとちぎの元気な森づくりをPR!!

～ 県民協働で行う森づくりの大切さを広く県民の皆様にご紹介～

平成30年10月20日（土）みぶハイウェーパークで開催された「とちぎ林業グランプリ2018 inみぶ」において、とちぎの元気な森づくりのPRを行いました。

高速道路と一般道の両方からアクセス可能な会場ということもあり、当日は多くの方々にご来場いただきました。

会場では、とちぎの元気な森づくり憲章に関するクイズやとちぎの元気な森づくり県民税に関するアンケート、小枝の鉛筆づくり体験に参加いただくとともに、とちぎの元気な森づくりに関するパネル展示とPRグッズの配布を実施しました。これらの取組により、ご来場いただいた方々に、森林の大切さや森づくりの必要性について、理解を深めていただきました。

クイズ、アンケートに参加してグッズをゲット!



PRグッズ（エコバッグなど）の配布

小枝の鉛筆をつくってみよう!



木工作体験

とちぎの元気な森づくり憲章をご存じですか?



とちぎの元気な森づくりに関するパネル展示

1. 森からの恵みに感謝し、語り合い、森への理解を深めます。
2. 暮らしや環境を守るため、元気な森づくりを進めます。
3. 木の文化を具現し、暮らしの中で木材の活用を促します。
4. みんなの理解と協力の輪を広げて、元気な森をつくります。
5. 100年後の未来のために、すべての生きものが豊かに生きられる元気な森を築きます。



アンケートにご協力いただき、
ありがとうございました!



木づかい推進活動

木工工作コンクール、金賞決まる!

～ 第11回子どもたちの木工工作コンクールの審査結果について ～

子どもたちの木づかい活動を広く普及するため、第11回子どもたちの木工工作コンクール（第43回全国児童・生徒木工工作コンクール栃木県大会）を開催し、応募作品294点の中から6点の作品が金賞受賞となりましたので御紹介します。

この金賞受賞作品は、平成31年開催予定の第43回全国児童・生徒木工工作コンクールに栃木県代表として出品されます。

金賞（最優秀賞）：栃木県 知事賞

○小学校低学年の部

「ふしぎなメロンのおみせやさん」



那須町立東陽小学校
1年 渡邊 心那 さん

○小学校高学年の部

「ワニ」



栃木市立家中小学校
5年 関口 慶太 さん

○中学校の部

「Wood Pot」



大田原市立大田原中学校
3年 半田 博也 さん

金賞：栃木県 教育委員会教育長賞

○小学校低学年の部

「城東りゅう」



宇都宮市立城東小学校
3年 蔵本 学斗 さん

○小学校高学年の部

「サマーフェスティバル
in ひなた村」



那須塩原市立大原間小学校
6年 室井 斐奈葵 さん

○中学校の部

「パイナップル島の
アトラクション」



那須塩原市立高林中学校
1年 中居 恒晴 さん
塚原 悠馬 さん
山崎 雅季 さん

県民会議構成員からのお知らせ

足尾の山に100万本の木を植えよう



NPO法人
足尾に緑を育てる会
NPO Grow Green In Ashio



自然環境を大切にする心を育てる学び舎” NPO法人 足尾に緑を育てる会”では
2019年も以下の活動計画を立てています。
どのイベントも体力に合わせてお気軽に参加いただけますのでどうぞお越しください。

3月	23日	土	作業デー
	24日	日	作業デー
4月	20日	土	作業デー
	21日	日	作業デー
	27日	土	春の植樹デー
5月	18日	土	作業デー
	19日	日	作業デー
6月	15日	土	作業デー
	16日	日	作業デー
7月	15日	海の日	草刈りデー
	20日	土	作業デー
	21日	日	作業デー
8月	17日	土	作業デー
	18日	日	作業デー
9月	14日	土	作業デー
	15日	日	作業デー
10月	19日	土	作業デー
	20日	日	作業デー
11月	16日	土	作業デー
	17日	日	作業デー



草刈りデーの様子



小学生の体験植樹の様子

他にもフィールドワーク等を企画中です。

作業デー：整地・草刈り・土作り・ドングリ仮植など、木を植えるための様々な作業を2～3時間行います。今年から参加回数に応じた特典や、お楽しみ企画を検討中です。

春の植樹デー：2日間で2000名近くの方に参加頂く当会最大のイベントです。
山間の為、駐車場が手狭で、皆様お車お乗り合わせをお願い申し上げます。

草刈りデー：草を刈って木々の育ちを応援します。
作業デー同様の特典&お楽しみ企画あります。

☆詳細は随時当会ホームページに掲載いたします。どうぞご覧ください。
<https://www.ashiomidori.com/>



とちぎ環境・みどり推進機構

栃木県林業労働力確保支援センターとフォレストワーカーズクラブ@とちぎでは、11月11日（日）宇都宮市内で120名が参加して『ハープを聴きながら林業トーク』というイベントを開催しました。

県民の皆様が、林業という仕事の現場を目にすることが少ないことから、トークを通して林業という仕事の理解促進と新規就労について考えていただきました。また、トークの前後には、国産材で製作したアイリッシュハープの演奏も堪能いただきました。



ゲストスピーカー



宇都宮大学農学部 教授 山本美穂さん

林業者に共通するのは、心のゆたかさで、プライドを持ち、育てた森を次代に引き継ごうとしています。



栃木県林業木材産業課 課長 津布久隆さん

旧態依然のままでは売れない。マーケットインに徹して、成熟した山を上手く売っていくべきです。



フォレストワーカーズクラブ@とちぎ 会長 白石盛人さん

「向き不向き」より「前向き」が大切。林業界は伐採などのスキルを活かした仕事が拡大しています。



林業カレッジ研修生・自伐林家 山本久美子さん

大学で「生きる根源」について学び、流れに沿って自然に生きる方法の1つが林業だと思っています。



高原林産企業組合 森林ワーカー 早乙女愛海さん

木を伐ってお金にするだけでなく、森林を循環させることが林業の大きな仕事だと思います。



国産材豎琴奏者 阿久津瞳さん

国産材で作ったハープで演奏することで人々の森に対する関心を喚起しています。



コーディネーター

アトリエ・ビーンズ
飯田絵里さん



会場を魅了した阿久津さんのアイリッシュハープ演奏

－ Mission 森林ワーカーを確保せよ －

とちぎ環境・みどり推進機構

成熟した森林資源を活用するために、森林ワーカーの確保が喫緊の課題となっています。そのため、栃木県林業労働力確保支援センターでは、「知って」「相談して」「体験して」熟慮し、「就業マッチング」と順序を経て、若い意欲のある就業希望者の掘り起こしを行っています。

知
っ
て



就業支援サイト「林ナビとちぎ」



就業PRリーフレットの作成



PR用DVDの自主制作

相
談
し
て



定期就業相談（ジョブモール）



就業相談コーナー（支援センター）



公共の電波を活用した林業の紹介
・RADIO BERRY（エコラジ）
・栃木放送（インサイトTODAY）

体
験
し
て



林業体験会（21世紀林業創造の森）



高校生の林業体験会（21世紀林業創造の森）

就
業
マ
ッ
チ
ン
グ



林業事業体説明会

採用決定



就業後も林業カレッジ研修等で
スキルアップをフォロー

『2018アカマツの森づくり』を開催しました。

塩那森林管理署

那須街道沿いのアカマツ林は、里山林として日本の原風景を残しつつオオタカの生息地にもなっている貴重な場所ですが、マツクイムシの被害により毎年その数を減らしています。塩那森林管理署では、NPO法人オオタカ保護基金と共催で、この森林を後世に引き継ぐため公募によるボランティアの皆様と一緒に8年ほど前から後継樹を育てる作業を行っています。

昨年まではアカマツの種子の発芽を促進させるための「地掻き」（地面を掻き起こす）作業とアカマツ苗の「植樹」作業を行っていましたが、今年は雨の中の開催だったため時間を短縮し「植樹」作業のみ行いました。

参加された22名の皆様には、昨年の実施箇所で一年間のアカマツの成長を確認していただいてから植樹作業を行いました。当日参加されたボランティアの中には、リピーターの方も多く0.08haの区域の中に手際よく200本のアカマツ苗が植えられました。最後に会場を移し、マツボックリなどを使ったクラフトも楽しんでいただきました。また来年、皆様方のご参加をお待ちしています。



力作！クラフト完成！



全員集合・お疲れ様でした



アカマツ林の中での作業風景



唐鍬を使って植え付けます

栃木県林業振興協会女性部会～こもれびの会～

森林・山育!!一緒に活動してみませんか？

私たち「こもれびの会」は、森や山の素晴らしさ、環境教育の大切さを伝えるとともに、林業の重要性、木の文化を守り伝えることなどを目的として活動しています。

森や山の恵みを利用した小物を東京スカイツリータウン・ソラマチ内の本県アンテナ店「とちまるショップ」で販売し、とちぎの森の魅力を発信しています。



林業グランプリ2018 in みぶ
森のクラフト体験



女性のための刈払機安全
操作研修会



森の恵みの商品開発

問合せ先：栃木県林業振興協会事務局 028-623-3273

「とちぎの森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。